

第34号

平成30年8月30日発行

埼玉県看護連盟

連盟だより・さいたま

S A I T A M A

石田まさひろと 看護の未来を語ろう

2018年8月7日(火)「リーダー研修Ⅰ」にて



第25回参議院選挙 候補予定者として自由民主党から第一次公認



看護の心を、
みんなの心に

会員数…………… 3,866人

保健師 …… 93人	助産師 …… 149人
看護師 …… 3,578人	准看護師 …… 46人
学生 …… 0人	(平成30年7月31日現在)

Contents

国会議員・埼玉県看護連盟会長あいさつ ……	2
看護連盟役員あいさつ ……	3
埼玉県看護連盟総会報告 ……	4~5
講演会「人生100年時代—看護職への期待」 ……	5
活動報告 ……	6
研修報告 ……	7
お知らせ ……	8



参議院文教科学委員長 参議院議員 たかがい 恵美子

埼玉県看護連盟の皆様におかれましては、お健やかにお過ごしのことと拝察いたします。酷暑の中、相次ぐ豪雨災害に心を痛めております。微力ですが、一刻も早い改良復旧をめざし、現場第一主義で対応を続けてまいります。幅広い年代の方が各地で看護の灯を必要としています。厳しい毎日ですが、互いに気持ちを強く持って、健やかに励んでまいりましょう。

いのちの最前線に立つ看護職にとって、現下の働き方改革はこれからが本番です。労働形態の多様化と拡大する業務内容、要求される技術の高度化、それに伴う労働負荷の増大について、看護職は自ら現状を解きほぐし他者に伝える努力を強めなければなりません。これは容易ではありませんが、固有の専門分野であるが故に、一般社会で共通認識されるためにどうしても必要なことです。

看護連盟は目的を明確にし、こうした政治活動を共にしています。日々の成果は目に見えにくい小さな努力の積み重ねですが、看護職全体に係る処遇改善と働き方改革を躍進させるために、これからも共にがんばりましょう。



参議院議員 石田 まさひろ

埼玉県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜りありがとうございます。

私事、この度、2019年夏に行われる第25回参議院選挙 候補予定者（全国比例区）として自由民主党から第一次公認を頂きました。皆様が充実した看護をできるよう、現場の課題解決に向け鋭意力を尽くしていく所存です。

先の第196回通常国会において、私は厚生労働委員会の筆頭理事として汗を流す毎日でした。医師の地域偏在を是正する「医療法及び医師法の一部を改正する法律案」、「働き方改革関連法案」など看護職の皆さんに関わりの深い法改正がされました。特に、働き方改革関連法案は、安倍政権の最重要法案でありながら与野党で激しい対立が起こり、野党との交渉役を務める筆頭理事の私には緊張感の高い局面が幾度もありました。同時に、本会議の審議では、会派を代表して安倍総理に代表質問する大役も頂きました。

この法改正を通し、女性や高齢者活躍の推進、IoTやAIを用いた生産性向上が政策として動き出します。常に人手が足りない看護現場でも、潜在看護師やリタイア後の看護師の活躍促進、看護記録・書類の見直しと十分なケア時間の確保に示されるように生産性向上に向け果敢にチャレンジしていく時です。一緒にチャレンジしていきましょう。



失敗体験を語り合いませんか

埼玉県看護連盟会長 竹内 良子

大阪北部の地震、西日本豪雨災害、そして41℃を越す猛暑と、様々な災害が日本列島に襲いかかっております。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

先日ある会合で、私自身の過去の失敗体験を語りました。するとその時参加していた方から「あの失敗談が自分の体験と重なり、ほっとしました」と声をかけていただきました。今まで失敗には口を閉ざしてきましたので、この反応には正直驚きました。

日々やりがいを感じながら働いていても、様々な要因で「もう限界」と結論を出す時があります。そんな時、先輩や同僚の失敗談を聞く機会があれば、救われる看護師もいっぱいいると思います。失敗は貴重な財産です。

埼玉県看護連盟は、今年度も役員一同働き続けられる環境づくりに取り組みます。

会員の皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

30年度看護連盟役員ごあいさつ



新任
副会長 福田 かよ子

看護連盟会員の皆様、こんにちは。この度、連盟の副会長を務めることになりました。今までは、会員として連盟の活動に参加しておりましたので、役割が果たせるか不安です。しかし、これからは「ベッドサイドから政治を変える！」という連盟のスローガンを意識しながら選挙に興味を持ってもらうにはどのような行動を起こせばよいのか・なぜ政界に看護師代表が必要なのかなど、一票の大切さを理解してもらえよう諸先輩方にご指導を頂きながら頑張って活動していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



新任
幹事 高橋 リサ子

この度、埼玉県看護連盟の幹事を務めることになりました。平成27年度の推薦委員として1年間連盟活動に参加させていただきましたが、あっという間の1年間でした。実際の活動はこれから学ばせていただきたいと思います。看護連盟がスローガンとして掲げている「ベッドサイドから政治を変える！」その実現に向けて現状を知りたいと、去年は竹内会長さんと前幹事長の伴野輝子さんが当ステーションを訪問してくださいました。訪問看護ステーションの現状や困っていることなど細かく聞いてくださり、役員の方々がこんなにも一生懸命活動されていることを知りました。微力ですがいろいろご指導を頂きながら任務を努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



新任
第6支部長 反町 かおり

この度、埼玉県看護連盟第6支部長を務めることになりました。今まで幹事長として連盟活動に参加してきましたが、支部長のサポート役として活動してきました。しかし、新たに支部長となり、改めて平成30年度の埼玉県看護連盟活動計画と支部活動計画を見ると重責に身の引き締まる思いが致します。

第6支部では、今年度「感染対策」に関する研修会を5回開催します。連盟の理解者と会員を増やすことができるように働きかけていきたいと思っています。看護連盟のスローガンである「ベッドサイドから政治を変える！」ことができるように、リーダーと共に看護政策実現のために連盟の活動に力を注ぎたいと思っています。よろしくお願いいたします。



新任
第7支部長 原 美樹

今年度より第7支部の支部長を拝命いたしました。連盟の活動は初めてで、さらに支部長としての役割を担えるか不安でいっぱいです。自分にできることを模索し、諸先輩にご指導いただきながら私たちが置かれている労働環境や看護職への社会の認識を常に考え、「ベッドサイドから政治を変える！」をもとに、幹事長と共に活動していきたいと思っています。皆様 よろしく願いいたします。



退任
第6支部長 三浦 喜代美

この度、埼玉県看護連盟第6支部長を退任することになりました。会員・県役員の皆様には、支部長として6年間、連盟の活動を温かく支えてくださり、本当にありがとうございました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

深谷赤十字病院が協会・連盟の全員加入として施設支部から地域支部へと発展した経緯や、先輩方の足跡を支部活動を通して学ぶことができました。ただ、私の力不足により地域の施設会員数の増加に繋がらなかったことが心残りです。看護の現場の声を政界に届け、地域住民が安心して暮らせる地域、看護職が生き生きと働き続けられる環境を実現するため、看護職一人ひとりが考えて行動する時が来ています。来年に向けて看護の代表を国政に送り続けられるよう頑張ります。



退任
第7支部長 平井 悦子

看護連盟について何も知らないまま県役員となり、その後支部長まで8年が経過しました。気がつけば選挙の時だけでなく、日ごろのニュースでも政治について気に留めるようになっていました。看護連盟にかかわらなければ、たかがい議員や石田議員と直接会ってお話する機会もなかったと思います。また、他施設の皆様と知り合えて、情報交換ができたことも貴重な財産となりました。

今回、支部長を退任しますが、今後は一会員として連盟活動に参加させていただきたいと思っています。まずは、来年の参議院選挙！家族だけでなく、仲間にも投票を呼び掛けていきます！

【退任】

副会長 高山 ちづ子

幹事 水上 美津子

平成30年度 埼玉県看護連盟総会報告

平成30年度埼玉県看護連盟総会は、埼玉県選出の国会議員や県会議員、市会議員の皆様、埼玉県看護協会熊本会長をはじめ看護職団体の会長の皆様など、多くのご来賓をお迎えし、6月30日(土)に開催いたしました。ご来賓の国会議員の皆様が、それぞれ「石田まさひろ議員を応援していますよ」と壇上で応援メッセージを送ってくださり、感動いたしました。

173名の会員の出席のもと、今年度の活動方針、活動計画は承認されました。



総会司会者



会長挨拶



ご来賓の皆様



議事進行

石田まさひろを応援する会：青年部を中心としたミニ決起集会（総会終了後）





感謝状受賞者代表



新役員の皆様

講演会

「人生100年時代、看護職への期待」

講師：たかがい恵美子参議院議員

総会に引き続き、たかがい恵美子参議院議員による講演会が開催されました。超少子高齢社会の中で、年々社会からの期待が大きくなっていく看護職、しかし女性が多い職種として賃金のあり方が問題である。給与の男女間格差などの問題をいかにして解決していくか、私たち看護職一人ひとりの意識、行動にかかっている、と熱く語りました。



「働き方を考えよう！ in 春日部」

日 時：平成30年7月21日(土) 13時30分～16時30分

会 場：春日部市民文化会館

目 的：1. 働き続けられる職場にするための政治活動を理解する
2. 医療現場で、多様な働き方を推進しよう

参加者：47名

第1部 1. 働き方と政治活動：青年部による基礎研修

2. 基調講演：「働き方改革・国の方向性」：衆議院議員 土屋 品子 氏

「働き方改革・埼玉県の方性」：県議会議員 白土 幸仁 氏

「働き方改革・春日部市の方性」：春日部市長 石川 良三 氏

3. 対話集会：「現場の声をどう制度政策につなげるか」：3 議員と青年部

「働き方」に関して講師から貴重な情報が得られました。青年部（男性）から育児休暇取得予定の発言があり、土屋議員から「積極的に取ってほしい、国も推奨」と説明がありました。



第2部 「多様な働き方を推進しよう」

講師：特定社会保険労務士 福島 通子 氏

管理者は労働者の公私を認める考え方（ワーク・ライフ・バランス）に発想の転換を！



リーダー研修Ⅰ テーマ：「アサーティブに伝える！」

日 時：平成30年8月7日(火) 13時30分～16時30分

会 場：ラフレさいたま 櫓の間

目 的：支部長・施設幹事・リーダーの役割を認識し、活動実践に結びつける

参加者：124名

第1部 「リーダーの役割：アサーティブに伝える！」

講師：キャリアコンサルタント・産業カウンセラー 須藤 昭彦 氏

【感想】

「アサーティブな伝え方」を聴き、これからの時代では環境変化に柔軟に適応できるリーダーが必要なこと、アサーティブの4つの柱は「誠実」「率直」「対等」「自己責任」であること、「ノー」は必要な言葉、など多くを学ぶことができました。なかでも印象に残った内容は叱るコツです。叱るときは「かりてきたねこ」、どんどん活用していきたいと思います。

第8支部長 西川紀子



第2部 対話集会「石田まさひろと看護の未来を語ろう」

石田まさひろと対話する人：看護部長・真々田 美穂 氏、支部長・平山 和江 氏、
青年部・當房 正嗣 氏

【対話の一部】

真々田「ナースセンターが地域にあったらいい」：石田「訪問看護ステーションはそのために開設した」
平山「退院する患者さんを地域に出て看たい」：石田「この4月の改定で点数が高くつくようになった」
當房「主任になって委員会などが増え、給与が減った。国として手当はつかないのか」：石田「給与問題は重要、手当ではなく、基本給を上げることが大事」などなど未来に向かって活発な意見交換が行われました。



お知らせ

日 時	内 容	場 所
平成30年10月16日（火）	国会見学（日本看護連盟や看護協会も見学）	現地集合・現地解散
10月20日（土）	「働き方を考えよう」 in 小川町	小川町立図書館
11月10日（土）	ポリナビワークショップ in さいたま	ラフレさいたま
12月14日（金）	看護職のキャリアデザイン	埼玉県看護協会研修センター
平成31年2月1日（金）	リーダー研修Ⅱ	埼玉県看護協会研修センター

平成30年度 連盟会員 入会受付中！

年会費 日本看護連盟会費 5,000円
埼玉県看護連盟会費 3,000円
計 8,000円

学生会員：無料

問合せ先：048-625-7002

皆様のご入会を
お待ちしております。



発行所：埼玉県看護連盟

〒331-0078 さいたま市西区西大宮三丁目3番地
（町名地番が変更になりました）

埼玉県看護協会研修センター内
TEL 048-625-7002 FAX 048-625-7003
<https://www.kango-saitama.jp/>

発行責任者 竹内 良子
印刷所 株式会社アサヒコミュニケーションズ
TEL 048-541-5152

編集後記

災害が各地で発生し、記録的な暑さが続いています。
被災された方々へ、心からお見舞い申し上げますと
ともに、一日も早いご復興をお祈りいたします。



**GOOD
DESIGN**

ルモーネ「マウンテンキルト掛けふとん」は
2017年度グッドデザイン賞を受賞しました。

水と、空気と、睡眠と。

ルモーネ

Lumone

TUK 東洋羽毛北関東販売株式会社
埼玉営業所 〒362-0017 埼玉県上尾市二ツ宮 963-3



0120 - 223062

～お気軽にお問い合わせください～



この印刷物は再
生紙と環境にや
さしい「植物油
インキ」を使用
しています。

